

著者名：岩澤英明

所属：Diamond Light Source, Associate Beamline Scientist (I05)

住所：Harwell Science & Innovation Campus, Didcot, Oxfordshire
OX11 0DE, UK

E-mail: hideaki.iwasawa@diamond.ac.uk

専門：固体物性, 光電子分光, 超伝導

略歴：2008年、東京理科大学理学研究科博士課程修了（齋藤研）。

2009年から2016年5月まで、広島大学放射光科学研究センターにて、日本学術振興会特別研究員、センター研究員・特任助教・助教。2016年6月から現職。



Diamond Light Source に異動して、半年以上が経過しました。Brexit という稀有な瞬間に居合わせたわけですが、今のところは、のんびりとしたイギリスの空気は変わらないままで。自身の研究に関しては、色々と勉強になったり、刺激を受けることは多いのですが、幸い実験手法を変えた訳でもないので、日本でも海外でも研究することは変わらないと感じています。ただし、研究環境には大きな違いがあるように思います。例えば、定時（17-18時）には、施設内にほぼ全ての人がないですし、休暇も多い・長いです。自分自身も、日本に居た時よりも働く時間はかなり短くなったのですが、自身の研究に費やせる時間は増えたと感じています。これはマンパワーによる部分が大きいと思いますが、その背景には、海外ではプライベートを重視する文化・思想があって、そのために必要なシステムが構築されてきた事に起因するのではないかと思います。その反面、日本と比べると、公共・交通・郵便など、様々な面でのサービスが悪かったり、不便を感じることも多いですので、利便性を追求してきた日本の社会には馴染まないスタイルかもしれません。それでも個人的には、ゆとりをもって研究が出来る環境というのは、柔軟な発想や斬新な研究を育むために重要なのではないかと思います。